

対象校No. 288  
注4

学校コード F101310100383  
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 大学の設置  
注1

認可

注2  
北海道武蔵女子大学

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人北海道武蔵女子学園  
令和6年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名	法人総務課
職名・氏名	カチョウ キヌカワヒデシ 課長・絹川 英敏
電話番号	011 - 726-3141 (内線711)
(夜間)	090-2813-8252
e-mail	kinukawa@hmu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

経営学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	30

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人北海道武蔵女子学園

## (2) 大学名

北海道武蔵女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒001-0022

北海道札幌市北区北22条西13丁目1番地3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シノダ ヤスノブ) 篠田 泰伸 (平成25年3月29日)	—	
学長	(マチノ カズオ) 町野 和夫 (令和6年4月1日)	—	
学部長	(キチジ ノゾミ) 吉地 望 (令和6年4月1日)	—	
学科長等	(キチジ ノゾミ) 吉地 望 (令和6年4月1日)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)  
令和6年度に報告する内容 → (6)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 経営学科 学士(経営学)	経済学関係	4年	80人	2年次	330人	-	-
	経済学関係			0人			
	経済学関係			3年次			
	経済学関係			5人			
	経済学関係			4年次			
経済学関係	0人						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	-	1.02倍	-	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	-			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	-			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	-			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.02			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」A6対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、**留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	82 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通	初年次ゼミナールⅠ	1前	1			3	2	2	2			
	初年次ゼミナールⅡ	1後	1			3	2	2	2			
	論理的思考と文章表現	1前	1									2
	プレゼンテーション技法	1後	1									1
	数学入門	1前	2				1					
	韓国語入門Ⅰ	1・2前		2								1
	韓国語入門Ⅱ	1・2後		2								1
	中国語入門Ⅰ	1・2前		2								1
	中国語入門Ⅱ	1・2後		2								1
	哲学入門	1・2後		2								1
	歴史学入門	1・2後		2								1
	文学入門	1・2後		2								1
	社会学入門 (フィールドワーク入門)	1・2期		2					1			
	政治学入門	2・3後		2								1
	教育学入門	1・2期		2					1			
	環境学	2・3後		2								1
	映像と文化	2・3後		2								1
	芸術と文化	2・3後		2								1
	スポーツ	2・3後		1								1
小計(19科目)	—	6	27	0	6	5	6	4	0	0	15	
教養教育	武蔵のキャリア教育	1前	2					1				
	インターンシップ	3前・後		1				1				
	ジェンダーとキャリアⅠ	3・4前		2					1			
	ジェンダーとキャリアⅡ	3・4後		1					1			
	キャリアデザイン	3後		2								1
小計(5科目)	—	4	4	0	0	1	2	1	0	0	1	
ICT・スキルコア	情報基礎	1前	1				1					
	データサイエンス・AI入門	1前	2				1					
	データサイエンス基礎	1後	2				1					
	データエンジニアリング基礎	1後	2				1					
	オフィスツール応用	2・3前		2								1
	ITパスポート演習	2・3後		2								1
小計(6科目)	—	7	4	0	0	4	0	0	0	0	2	
英語力要請・コア	総合英語Ⅰ	1前	2				1					2
	総合英語Ⅱ	1後	2				1					2
	ビジネス英語Ⅰ	2前	2				1					2
	ビジネス英語Ⅱ	2後	2				1					2
	International business for women in English	2・3後		2			1					
	メディアの英語	3・4前		2			1					
	英語プレゼンテーション	3・4後		2								1
	English Exam A(英検)	1・2前		2								1
	English Exam B(TOEIC)	1・2後		2								1
	ビジネス英語海外演習A	2・3後		2			1					
	ビジネス英語海外演習B	2前・後 3前・後		2			1					
小計(11科目)	—	8	14	0	0	8	0	0	0	0	11	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通	初年次ゼミナールⅠ	1前	1			3	2	2	2			
	初年次ゼミナールⅡ	1後	1			3	2	2	2			
	論理的思考と文章表現	1前	1									2
	プレゼンテーション技法	1後	1									1
	数学入門	1前	2				1					
	韓国語入門Ⅰ	1・2前		2								1
	韓国語入門Ⅱ	1・2後		2								1
	中国語入門Ⅰ	1・2前		2								1
	中国語入門Ⅱ	1・2後		2								1
	哲学入門	1・2後		2								1
	歴史学入門	1・2後		2								1
	文学入門	1・2後		2								1
	社会学入門 (フィールドワーク入門)	1・2期		2						1		
	政治学入門	2・3後		2								1
	教育学入門	1・2期		2						1		
	環境学	2・3後		2								1
	映像と文化	2・3後		2								1
	芸術と文化	2・3後		2								1
	スポーツ	2・3後		1								1
小計(19科目)	—	6	27	0	6	5	6	4	0	0	15	
教養教育	武蔵のキャリア教育	1前	2						1			
	インターンシップ	3前・後		1					1			
	ジェンダーとキャリアⅠ	3・4前		2						1		
	ジェンダーとキャリアⅡ	3・4後		1						1		
	キャリアデザイン	3後		2								1
小計(5科目)	—	4	4	0	0	1	2	1	0	0	1	
ICT・スキルコア	情報基礎	1前	1				1					
	データサイエンス・AI入門	1前	2				1					
	データサイエンス基礎	1後	2				1					
	データエンジニアリング基礎	1後	2				1					
	オフィスツール応用	2・3前		2								1
	ITパスポート演習	2・3後		2								1
小計(6科目)	—	7	4	0	0	4	0	0	0	0	2	
英語力要請・コア	総合英語Ⅰ	1前	2				1					1
	総合英語Ⅱ	1後	2				1					1
	ビジネス英語Ⅰ	2前	2				1					2
	ビジネス英語Ⅱ	2後	2				1					2
	International business for women in English	2・3後		2			1					
	メディアの英語	3・4前		2			1					
	英語プレゼンテーション	3・4後		2								1
	English Exam A(英検)	1・2前		2								1
	English Exam B(TOEIC)	1・2後		2								1
	ビジネス英語海外演習A	2・3後		2			1					
	ビジネス英語海外演習B	2前・後 3前・後		2			1					
小計(11科目)	—	8	14	0	0	8	0	0	0	0	9	

## 2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	経営学基礎	1前	2			1							
	マーケティング基礎	1前	2			1							
	経済学基礎	1後	2			1							
	会計学基礎	1後	2			1							
	法学基礎	2前	2			1							
	デザイン基礎	1前	2			1							
	小計(6科目)	—	12	0	0	6	0	0	0	0	—		
	専門教育科目	経営組織論 I	1後	2				1					
		経営戦略論 I	1後	2			1						
		デジタルマーケティング	2前	2			1						
		企業論	2前	2			1						
		消費者行動論	2前	2				1					
		DX論	2後	2			1						
		心理学	1後	2				1					
		ビジネス心理	2前	2				1					
		マクロ経済学 I	2前	2			1						
		ミクロ経済学 I	2前	2			1						
		行動経済学	2・3後	2	2		1						
		流通論	2・3後	2	2			1					
		サービス産業論	3・4前	2	2		1						
観光学		3・4後	2	2		1							
ビジネスデータサイエンス演習	2前	2								1			
簿記 I	1・2前	2	2								1		
財務会計	2前	2			1								
民法	2・3後	2	2		1								
小計(18科目)	—	24	12	0	11	5	0	0	0	2			
専門実践科目	リーダーシップ開発演習 I	1前	2				1						
	リーダーシップ開発演習 II	1後	2			1							
	リーダーシップ応用演習	2前	2				1						
	プレゼミナール	2後	2			8	5	2	2				
	ファンリレーティング入門	3・4前	2	2			1						
小計(5科目)	—	8	2	0	9	8	2	2	0	0			

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	経営学基礎	1前	2			1							
	マーケティング基礎	1前	2			1							
	経済学基礎	1後	2			1							
	会計学基礎	1後	2			1							
	法学基礎	2前	2			1							
	デザイン基礎	1前	2			1							
	小計(6科目)	—	12	0	0	6	0	0	0	0	—		
	専門教育科目	経営組織論 I	1後	2				1					
		経営戦略論 I	1後	2			1						
		デジタルマーケティング	2前	2			1						
		企業論	2前	2			1						
		消費者行動論	2前	2				1					
		DX論	2後	2			1						
		心理学	1後	2				1					
		ビジネス心理	2前	2				1					
		マクロ経済学 I	2前	2			1						
		ミクロ経済学 I	2前	2			1						
		行動経済学	2・3後	2	2		1						
		流通論	2・3後	2	2			1					
		サービス産業論	3・4前	2	2		1						
観光学		3・4後	2	2		1							
ビジネスデータサイエンス演習	2前	2								1			
簿記 I	1・2前	2	2						1		0		
財務会計	2前	2			1								
民法	2・3後	2	2		1								
小計(18科目)	—	24	12	0	11	6	0	0	0	1			
専門実践科目	リーダーシップ開発演習 I	1前	2				1						
	リーダーシップ開発演習 II	1後	2			1							
	リーダーシップ応用演習	2前	2				1						
	プレゼミナール	2後	2			8	5	2	2				
	ファンリレーティング入門	3・4前	2	2			1						
小計(5科目)	—	8	2	0	9	8	2	2	0	0			

## 2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	経営組織論Ⅱ	2・3前	2								1
	経営戦略論Ⅱ	2・3後	2								1
	マーケティング・コミュニケーション	2・3後	2			1					
	人的資源管理論	2・3後	2						1		
	教育経営論	2・3後	2				1				
	経営倫理	3・4前	2			1					
	経営史	3・4前	2				1				
	グローバル経営論	3・4前	2			1					
	ベンチャービジネス論	3・4前	2			1					
	コミュニティビジネス論	3・4後	2			1					
	コーポレートガバナンス論	3・4後	2								1
	社会心理学	2・3後	2							1	
	心理学研究法	3・4前	2							1	
	デザイン論	2・3前	2			1					
	データサイエンス・AI応用	2・3後	2				1				
	ウェブデザイン演習	2・3後	2								1
	デザイン表現演習	3・4前	2			1					
	マクロ経済学Ⅱ	3・4前	2			1					
	ミクロ経済学Ⅱ	3・4前	2			1					
	財政学	3・4後	2								1
	国際経済学	3・4後	2								1
	金融論	3・4後	2								1
	簿記Ⅱ	1・2後	2								1
財務分析	2・3後	2			1						
管理会計	3・4前	2								1	
取引法・消費者法	3・4前	2			1						
3年専門ゼミナール	3通	4			8	5	2	2			
4年専門ゼミナール(卒業論文含む)	4通	8			8	5	2	2			
小計(28科目)	-	12	52	0	25	13	6	7	0	9	
合計(98科目)	-	81	115	0	57	44	16	14	0	40	

卒業要件及び履修方法

必修科目81単位、共通教養教育科目の基礎教養・コアの選択科目(スポーツを除く)から10単位、専門教育科目の選択科目から24単位以上を修得し、124単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))  
なお、専門教育科目の専門基幹科目のうち6科目(サービス産業論、観光学、流通論、行動経済学、簿記Ⅰ、民法)から6単位を選択必修とする。

#### 【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	経営組織論Ⅱ	2・3前	2								1
	経営戦略論Ⅱ	2・3後	2								1
	マーケティング・コミュニケーション	2・3後	2			1					
	人的資源管理論	2・3後	2						1		
	教育経営論	2・3後	2				1				
	経営倫理	3・4前	2			1					
	経営史	3・4前	2				1				
	グローバル経営論	3・4前	2			1					
	ベンチャービジネス論	3・4前	2			1					
	コミュニティビジネス論	3・4後	2			1					
	コーポレートガバナンス論	3・4後	2								1
	社会心理学	2・3後	2							1	
	心理学研究法	3・4前	2							1	
	デザイン論	2・3前	2			1					
	データサイエンス・AI応用	2・3後	2				1				
	ウェブデザイン演習	2・3後	2								1
	デザイン表現演習	3・4前	2			1					
	マクロ経済学Ⅱ	3・4前	2			1					
	ミクロ経済学Ⅱ	3・4前	2			1					
	財政学	3・4後	2								1
	国際経済学	3・4後	2								1
	金融論	3・4後	2								1
	簿記Ⅱ	1・2後	2							1	0
財務分析	2・3後	2			1						
管理会計	3・4前	2								1	
取引法・消費者法	3・4前	2			1						
3年専門ゼミナール	3通	4			8	5	2	2			
4年専門ゼミナール(卒業論文含む)	4通	8			8	5	2	2			
小計(28科目)	-	12	52	0	25	14	6	7	0	8	
合計(98科目)	-	81	115	0	57	46	16	14	0	36	

卒業要件及び履修方法

必修科目81単位、共通教養教育科目の基礎教養・コアの選択科目(スポーツを除く)から10単位、専門教育科目の選択科目から24単位以上を修得し、124単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))  
なお、専門教育科目の専門基幹科目のうち6科目(サービス産業論、観光学、流通論、行動経済学、簿記Ⅰ、民法)から6単位を選択必修とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。この場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
  - (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・本務校（同一法人内の短期大学）の担当科目割当増のため兼任教員1名が就任を辞退した理由により、「総合英語Ⅰ」の「兼任・兼任教員2」を「兼任・兼任教員1」に変更。
- ・本務校（同一法人内の短期大学）の担当科目割当増のため兼任教員1名が就任を辞退した理由により、「総合英語Ⅱ」の「兼任・兼任教員2」を「兼任・兼任教員1」に変更。
- ・本務校（同一法人内の短期大学）の担当科目割当増のため兼任教員1名が就任を辞退した理由により、「簿記Ⅰ」の「兼任教員1」を「准教授1」に変更。
- ・本務校（同一法人内の短期大学）の担当科目割当増のため兼任教員1名が就任を辞退した理由により、「簿記Ⅱ」の「兼任教員1」を「准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
39 科目	59 科目	0 科目	98 科目	39 科目	59 科目	0 科目	98 科目	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						該当なし
3						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						該当なし
3						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{98} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	北海道武蔵女子短期大学と共用					
	校舎敷地	0㎡	18,979.70㎡	0㎡	18,979.70㎡						
	運動場用地	0㎡	6,712.61㎡	0㎡	6,712.61㎡						
	小 計	0㎡	25,692.31㎡	0㎡	25,692.31㎡						
	そ の 他	0㎡	26,014.44㎡	0㎡	26,014.44㎡						
	合 計	0㎡	51,706.75㎡	0㎡	51,706.75㎡						
(2) 校 舎	専 用	0㎡	14,792.85㎡	共用する他の学校等の専用	0㎡	北海道武蔵女子短期大学と共用					
	( 0㎡)	( 0㎡)	14,792.85㎡	( 0㎡)	14,792.85㎡						
(3) 教 室 等	講 義 室	16室	演 習 室	13室	実験実習室	1室	情報処理学習施設	2室	語学学習施設	1室	
						(補助職員 0人)		(補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	経営学部経営学科			18 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕							
		経営学部	188,786 [19,090] ( 182,558 [18,337] )	250 [45] (251 [45] )				1 [0] (2 [1] )	4,969 (4,635)	0 ( 0 )	0 ( 0 )
		計	188,786 [19,090] (182,558 [18,337] )	250 [45] (251 [45] )				1 [0] (2 [1] )	4,969 (4,635)	0 ( 0 )	0 ( 0 )
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	1,535.37㎡		119席		154,000冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	2,086.89㎡		テニスコート2面、ゴルフ練習場								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当たり研究費等	350千円	350千円	図書購入費	2,810千円	4,000千円	4,000千円			
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	31,000千円	14,000千円	5,000千円				
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,180千円	1,025千円	1,025千円	1,025千円	—	—				
学生納付金以外の維持方法の概要		経常費補助金、雑収入、受取利息；配当金等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道武蔵女子大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	—	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	—
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
経営学部	4	80	3年次 5	330	-	1.02	-	-	令和6	-				
経営学科	4	80	3年次 5	330	学士 (経営学)	1.02	-	-	令和6	北海道札幌市北区北22条西10丁目				
大学全体	4	80	3年次 5	330	-	-	-	-	-	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
  - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
  - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 5 教員組織の状況

<経営学部 経営学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長)	町野 和夫 (66) <令和6年4月> Ph.D. in Economics
		ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ
専	教授	池田 清治 (65) <令和9年4月> 法学博士
		法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	池田 清治 (63) <令和7年4月> 法学博士
		法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール
専	教授	井原 久光 (71) <令和6年4月> 博士(総合政策)
		経営戦略論Ⅰ 企業論 グローバル経営論 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	教授	大平 義隆 (68) <令和7年4月> 商学修士※
		経営学基礎 コミュニティビジネス論 ベンチャービジネス論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	大平 義隆 (67) <令和6年4月> 商学修士※
		経営学基礎

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学長)	町野 和夫 (66) <令和6年4月> Ph.D. in Economics
		ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ
専	教授	池田 清治 (62) <令和9年4月> 法学博士
		法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	池田 清治 (62) <令和7年4月> 法学博士
		法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール
専	教授	井原 久光 (71) <令和6年4月> 博士(総合政策)
		経営戦略論Ⅰ 企業論 グローバル経営論 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	教授	大平 義隆 (67) <令和7年4月> 商学修士※
		経営学基礎 コミュニティビジネス論 ベンチャービジネス論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	大平 義隆 (67) <令和6年4月> 商学修士※
		経営学基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	吉地 望 (53) <令和6年4月> 博士(経済学)
		経済学基礎 行動経済学 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	教授	近藤 公彦 (63) <令和7年4月> 商学修士※
		マーケティング基礎 デジタルマーケティング DX論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	近藤 公彦 (62) <令和6年4月> 商学修士※
		マーケティング基礎
専	教授	佐藤 郁夫 (68) <令和6年4月> 博士(経済学)
		サービス産業論 観光学 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専		米山 祐司 (67) <令和6年4月> 博士(経営学)
		会計学基礎 財務会計 財務分析 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	教授	若林 尚樹 (65) <令和6年4月> 博士(感性科学)
		デザイン基礎 デザイン論 リーダーシップ開発演習Ⅱ デザイン表現演習 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	吉地 望 (53) <令和6年4月> 博士(経済学)
		経済学基礎 行動経済学 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	教授	近藤 公彦 (62) <令和7年4月> 商学修士※
		マーケティング基礎 デジタルマーケティング DX論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	近藤 公彦 (62) <令和6年4月> 商学修士※
		マーケティング基礎
専	教授	佐藤 郁夫 (68) <令和6年4月> 博士(経済学)
		サービス産業論 観光学 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専		米山 祐司 (67) <令和6年4月> 博士(経営学)
		会計学基礎 財務会計 財務分析 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	教授	若林 尚樹 (65) <令和6年4月> 博士(感性科学)
		デザイン基礎 デザイン論 リーダーシップ開発演習Ⅱ デザイン表現演習 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	板谷 初子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ ビジネス英語海外研修A ビジネス英語海外研修B International business for women in English メディアの英語 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	准教授	伊藤 祥子 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(商学)
		消費者行動論 流通論 マーケティング・ コミュニケーション 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	准教授	畦原 宗之 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		数学入門 データサイエンス・AI入門 データサイエンス基礎 データエンジニアリング基礎 データサイエンス・AI応用 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	准教授	宮本(馬場崎)知加子 (44) ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		心理学 ビジネス心理 リーダーシップ開発演習Ⅰ ファシリテーション入門 インターンシップ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	准教授	渡邊 泰宏 (44) ＜令和6年4月＞ 修士(経済学) ※
		経営組織論Ⅰ 経営倫理 リーダーシップ応用演習 情報基礎 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	板谷 初子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ ビジネス英語海外研修A ビジネス英語海外研修B International business for women in English メディアの英語 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	准教授	伊藤 祥子 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(商学)
		消費者行動論 流通論 マーケティング・ コミュニケーション 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール 簿記Ⅰ 簿記Ⅱ
専	准教授	畦原 宗之 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		数学入門 データサイエンス・AI入門 データサイエンス基礎 データエンジニアリング基礎 データサイエンス・AI応用 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	准教授	宮本(馬場崎)知加子 (44) ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		心理学 ビジネス心理 リーダーシップ開発演習Ⅰ ファシリテーション入門 インターンシップ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	准教授	渡邊 泰宏 (44) ＜令和6年4月＞ 修士(経済学) ※
		経営組織論Ⅰ 経営倫理 リーダーシップ応用演習 情報基礎 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	明田川(辻村)知美 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)※
		教育経営論 教育学入門 ジェンダーとキャリアⅡ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	講師	木下 なつき (47) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		経営史 社会学入門(フィールドワーク入門) 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	助教	Galsanjigmed Enkhzul (33) ＜令和6年4月＞ 博士(人間科学)
		人的資源管理論 ジェンダーとキャリアⅠ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	助教	館石 和香葉 (30) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		社会心理学 心理学研究法 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	鈴木 健太 (49) ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		哲学入門
兼任	教授	高橋 秀幸 (56) ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		簿記Ⅰ 簿記Ⅱ
兼任	教授	村上 佳寿子 (67) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	明田川(辻村)知美 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)※
		教育経営論 教育学入門 ジェンダーとキャリアⅡ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	講師	木下 なつき (47) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		経営史 社会学入門(フィールドワーク入門) 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	助教	Galsanjigmed Enkhzul (33) ＜令和6年4月＞ 博士(人間科学)
		人的資源管理論 ジェンダーとキャリアⅠ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	助教	館石 和香葉 (30) ＜令和6年4月＞ <b>博士(人間科学)</b>
		社会心理学 心理学研究法 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	
兼任	教授	
兼任	教授	村上 佳寿子 (66) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	多田 久実子 (65) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		論理的思考と文章表現 文学入門
兼任	准教授	宮下 裕加 (61) ＜令和7年4月＞ 修士(生涯スポーツ学)
		スポーツ
兼任	講師	高鳥 廉 (34) ＜令和6年4月＞ 修士(日本史学)
		歴史学入門
兼任	講師	忽滑谷 夢鶴舞 (65) ＜令和7年4月＞ 経済学士
		オフィスツール応用
兼任	講師	奴久妻 駿介 (36) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)※
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	網野 真佐子 (65) ＜令和6年4月＞ 修士(国際広報メディア)
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 英語プレゼンテーション English Exam B (TOEIC)
兼任	講師	飯田 治 (68) ＜令和8年4月＞ 学士(商学)
		金融論
兼任	講師	上原 賢司 (43) ＜令和6年4月＞ 博士(政治学)
		政治学入門
兼任	講師	榎戸 智司 (61) ＜令和6年4月＞ 学士(文学)
		論理的思考と文章表現
兼任	講師	呉 明熙 (51) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)※
		韓国語入門Ⅰ 韓国語入門Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	多田 久実子 (65) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		論理的思考と文章表現 文学入門
兼任	准教授	宮下 裕加 (60) ＜令和7年4月＞ 修士(生涯スポーツ学)
		スポーツ
兼任	講師	高鳥 廉 (34) ＜令和6年4月＞ 修士(日本史学)
		歴史学入門
兼任	講師	忽滑谷 夢鶴舞 (65) ＜令和7年4月＞ 経済学士
		オフィスツール応用
兼任	講師	網野 真佐子 (65) ＜令和6年4月＞ 修士(国際広報メディア)
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 英語プレゼンテーション English Exam B (TOEIC)
兼任	講師	飯田 治 (66) ＜令和8年4月＞ 学士(商学)
		金融論
兼任	講師	上原 賢司 (43) <b>＜令和7年4月＞</b> 博士(政治学)
		政治学入門
兼任	講師	榎戸 智司 (61) ＜令和6年4月＞ 学士(文学)
		論理的思考と文章表現
兼任	講師	呉 明熙 (51) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)※
		韓国語入門Ⅰ 韓国語入門Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	春日部 光紀 (54) <令和8年4月> 博士(経営学)
		管理会計
兼任	講師	堅田 諒 (33) <令和7年4月> 修士(文学)
		映像と文化
兼任	講師	木田 世界 (33) <令和8年4月> 博士(経営学)
		コーポレートガバナンス論
兼任	講師	熊谷 由美子 (60) <令和6年4月> 修士(文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	呉 秀娟 (44) <令和6年4月> 博士(文学)
		中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅱ
兼任	講師	鈴木 卓真 (48) <令和6年4月> 博士(工学)
		プレゼンテーション技法
兼任	講師	高橋 朋代 (49) <令和7年4月> 博士(建設システム工学)
		ウェブデザイン演習
兼任	講師	田辺 智也 (30) <令和6年4月> 修士(文学)※
		English Exam A(英検)
兼任	講師	鳥宮 尚道 (51) <令和7年4月> 博士(学術)
		芸術と文化
兼任	講師	長田 美恵子 (50) <令和8年4月> 学士(商学)
		キャリアデザイン
兼任	講師	野口 剛 (49) <令和8年4月> 博士(経済学)
		財政学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	春日部 光紀 (52) <令和8年4月> 博士(経営学)
		管理会計
兼任	講師	堅田 諒 (32) <令和7年4月> 修士(文学)
		映像と文化
兼任	講師	木田 世界 (31) <令和8年4月> 博士(経営学)
		コーポレートガバナンス論
兼任	講師	熊谷 由美子 (60) <令和6年4月> 修士(文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	呉 秀娟 (44) <令和6年4月> 博士(文学)
		中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅱ
兼任	講師	鈴木 卓真 (49) <令和6年4月> 博士(工学)
		プレゼンテーション技法
兼任	講師	高橋 朋代 (48) <令和7年4月> 博士(建設システム工学)
		ウェブデザイン演習
兼任	講師	田辺 智也 (30) <令和6年4月> 修士(文学)※
		English Exam A(英検)
兼任	講師	鳥宮 尚道 (50) <令和7年4月> 博士(学術)
		芸術と文化
兼任	講師	長田 美恵子 (48) <令和8年4月> 学士(商学)
		キャリアデザイン
兼任	講師	野口 剛 (47) <令和8年4月> 博士(経済学)
		財政学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古林 英一 (66) <令和7年4月> 博士(農学)
		環境学
兼任	講師	舛田 佳弘 (52) <令和8年4月> 博士(経済学)
		国際経済学
兼任	講師	柳田 英俊 (57) <令和7年4月> 修士(教育学)
		ITパスポート演習
兼任	講師	小林 重人 (45) <令和7年4月> 博士(知識科学)
		ビジネスデータサイエンス演習
兼任	講師	玉井 健一 (60) <令和7年4月> 経済学博士
		経営戦略論Ⅱ
兼任	講師	中村 暁子 (35) <令和7年4月> 修士(経営学)
		経営組織論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古林 英一 (65) <令和7年4月> 博士(農学)
		環境学
兼任	講師	舛田 佳弘 (50) <令和8年4月> 博士(経済学)
		国際経済学
兼任	講師	柳田 英俊 (56) <令和7年4月> 修士(教育学)
		ITパスポート演習
兼任	講師	小林 重人 (44) <令和7年4月> 博士(知識科学)
		ビジネスデータサイエンス演習
兼任	講師	玉井 健一 (60) <令和7年4月> 経済学博士
		経営戦略論Ⅱ
兼任	講師	中村 暁子 (34) <令和7年4月> 修士(経営学)
		経営組織論Ⅱ
兼任	講師	稲荷森 輝一 (27) <令和6年4月> 修士(文学)
		哲学入門

- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・本務校（同一法人設置の短期大学）の担当科目増により、兼任教員の奴久妻俊介講師が就任辞退。同じ科目を担当する専任教員の板谷初子准教授が奴久妻が担当する予定であった分の授業を担当する。
- ・本務校（同一法人設置の短期大学）の担当科目増により、兼任教員の高橋秀幸教授が就任辞退。担当予定科目は、専任教員の伊藤祥子准教授が担当するものとし、資格学校からの講師派遣を取り入れながら、資格取得を意識した授業を展開する。
- ・館石和香葉助教が2023年9月に博士（人間科学）を取得。
- ・遠隔地の大学に赴任する理由により、兼任教員の鈴木健太講師が就任辞退。後任として兼任教員の稲荷森輝一講師が着任。
- ・科目の配当年次変更（1・2年次開講から2・3年次開講に変更）により、兼任教員の上原賢司講師の就任年度が1年遅延。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	9
18	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
9	5	2	2	18	0	6	5	2	2	15	0
(6)	(5)	(2)	(2)	(15)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
9	5	2	2	18	0	9	5	2	2	18	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
63	5	8
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{15} = \boxed{33.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{18} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
---

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和5年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	【認可】 遵守事項 兼担・兼任教員の一部に変更が生じたが、専任教員によるカバー及び後任の兼任教員の手配により授業科目については設置計画通りに履行されている。 FDは、全専任教員出席のもとで開催し、理念を共有しながら教育水準の向上に努めており、今後、毎月1回開催する予定である。(6)	履行中 FD等を通じて教員間で理念及び教育情報を共有しながら設置計画を着実に進める。 また、地域や企業との連携等により教育の水準向上及び研究推進を図る。(6)
認 可 時 (令和5年)	教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 開学年度において、当初の想定どおり入学定員充足率102%を得た。今後も学生募集活動等において不断の努力を行いながらデータ分析にも力を注ぎ、入学者確保に努めると同時に定員規模の検討も行っていく。(6)	履行中 高校生の志願動向について注意を払い、学生募集活動において得られる数値データを分析し、学生確保の見通しの判断に活用していく。(6)
認 可 時 (令和5年)	完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項 「学校法人北海道武蔵女子学園 北海道武蔵女子大学開設時における採用教育職員の定年特例規程」を制定し、すでに施行している。 同規程の定めに基づき、大学開設時において、年齢が、本学園定年規程を超える者を専任教員として採用した場合は、採用日の属する年度から5年を経過した年度の末日を雇用上限として定めている。(6)	履行中 「学校法人北海道武蔵女子学園 北海道武蔵女子大学開設時における採用教育職員の定年特例規程」は、大学完成年度までに就任する専任教員にのみ適用する特例規程であることから、完成年度以降に採用する専任教員の定年は、学園定年規程の定めに従うものとなる。 今後、完成年度以降の教員配置について検討する。(6)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年度)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。

**【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<経営学部 経営学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
【入試区分ごとの学生募集人員】 一般選抜40名、大学入学共通テスト利用選抜10名、学校推薦型選抜25名、総合型選抜5名	近年の高校生の大学受験動向を見ると、年内入試による受験を志望する割合が高くなっている。そのため、今後の学生の安定確保を考慮し、一般選抜の募集人員を10名減じて30名にし、総合型選抜の募集人員を10名増の15名とする。なお、総合型選抜に関しては、配点バランスを変更し、出願書類審査の配点を下げて、受験日当日に行う面接試験（プレゼンテーション及び面接）の配点を高くする。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道武蔵女子大学FD委員会」</li> <li>・「北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学SD企画会議」</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>「北海道武蔵女子大学FD委員会」</p> <p>第1回FD委員会を5月13日に開催する予定（※本報告作成時点の確認：委員全員参加のもとで開催済み）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>「北海道武蔵女子大学FD委員会」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) FD研修会の年間計画について</li> <li>2) 初年次ゼミの合同開催について</li> <li>3) 授業アンケートの実施について</li> </ol> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任教員のための研修会 令和6年4月1日に、新任を含む専任教員全員（次年度以降着任者は除く。以下同様）を対象に、学部長から本学の教育方針等について説明。さらに専任教員の就業におけるコアタイムの設定、オフィスアワーの設定ルールなどについて全専任教員で確認した。 また、令和6年4月24日に第1回FD研修を開催（第1回目のFD研修については、昨年度のうちに、学部長及びFD委員長就任予定者にて決定）し、学務システム等の説明と授業運営に関する学習会を開催した。今後は、月に1回ペースで開催する予定。</li> <li>・ 授業方法についての研究会 6月に実施する「初年次ゼミナール合同ゼミナール」について、5月に打合せを行う。 なお、初年次ゼミナールを担当しない専任教員も参加し、授業概要・方針の共有を図る。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任教員のための研修会 専任教員がアクティブラーニング室に集まり、学長及び学部長が、特に新任の教員に向けて本学の教育及び学生指導の特色を説明。意見交換も交えながら、PBLを重視した教育について理解を深めた。</li> </ul>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

新任者研修及びFD研修とも全専任教員出席のもとで開催した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現時点では特になし

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和6年5月2日～14日にかけて、「初年次ゼミナール」を除くすべての授業において「授業調査」を行う。  
授業を4回行った時点で学生の意見を聞き、対応が可能なものについては即時的に改善を行う。

また、学期末には、すべての授業科目において「授業アンケート」を行う予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

「授業アンケート」の結果の教員への通知は、学内ポータルシステムを利用して行う。

学生に対しては、授業アンケート結果について成績講評時にフィードバックを行う。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学生募集活動とアドミッションポリシーに基づく各選抜により、入学定員を充足することができた（入学定員80名に対し入学者82名）。専任教員も予定どおり就任し、計画どおりに開学となった。

開学後は、初年次ゼミの開講、併設短期大学と合同の新入生宿泊研修の開催等が計画どおり進み、PBLに重点を置いた本学の特色ある教育が開始され、一部の授業は、教育情報共有のために学内公開もなされている。

また、5月には専任教員による学生の個人面談も行うこととなっており、引き続き設置の趣旨・目的の達成に向けて努力をしていく。なお、現時点において退学・休学をしている学生はいない。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和8年6月1日 公表予定

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和8年6月末を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和12年に認証評価機関（一般財団法人大学・短期大学基準協会）の評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載  その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 北海道武蔵女子大学FD委員会規程

(設置)

**第1条** 北海道武蔵女子大学学則第3条及び北海道武蔵女子大学教授会規程第8条の規定に基づき、北海道武蔵女子大学(以下「本学」という。)に、FD委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 前項のFDとは、Faculty Developmentの略で、組織的な取組みによって、教育職員がみずから教育能力の水準を高め、向上させることをいう。

(目的)

**第2条** 委員会は、本学のFDを積極的に推進し、教育内容及び方法を改善及び向上させることを目的とする。

(委員長)

**第3条** 委員会の委員長は、委員のうちから、学長が任命する。

2 委員長は、委員会を代表し、その会務を総括する。

3 委員長は、会議を招集し、その議長となる

4 委員長が事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(委員の任期)

**第4条** 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

**第5条** 委員会は、委員長がこれを招集し、その議事を整理する。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決をすることができない。

3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員会が必要と認めたときは、会議に、委員以外の者の出席を求めることができる。

(職務)

**第6条** 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、FDを推進するための活動を行う。

(1) 教授法の開発、向上に関すること

(2) 授業計画の立案やシラバスに関すること

(3) 学習に関する理論の研究や評価方法の改善に関すること

(4) 授業の研究、改善に関すること

(5) FD推進のための企画及び実施に関すること

(6) FDに関する研修会の立案・実施に関すること

(7) その他、FDの推進に関して学長の諮問する事項並びに委員会が必要と認めた重要事項に関すること

(教授会への報告)

**第7条** 委員会は、職務の所要する重要事項を教授会に報告するものとする。

(合同委員会)

**第8条** 委員会は、大学と短期大学相互に関連する事項又は調整を要する事項について審議・検討等を行うために、必要に応じて、北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子大学合同委員会規程に定める合同委員会を開くことができる。

(事務)

**第9条** 委員会の事務は、学務課で処理する。

(規程の改廃)

**第10条** この規程の改廃は、教授会の議を経るものとする。

## 附 則

1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。

## 北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学SDに関する規程

(目的)

**第1条** この規程は、組織的な取組みによって、教職員みずからが職務能力の開発及び向上を目指すSD (Staff Development) について定めることを目的とする。

(方針)

**第2条** SDは、この規程に定める内容にしたがって、計画的、効果的かつ継続的に実施する。

(SD研修会)

**第3条** SDとして実施する研修の名称をSD研修会とし、毎年実施するものとする。

2 SD研修会は、嘱託職員及び特任教職員を含む常勤の教職員全員を対象として行う。ただし、必要に応じて職種、役職、職位、部署及び経験年数等により限定した教職員の研修を行うことができる。

3 SD研修会は、大学及び短期大学(以下「両大学」という。)の学長が研修責任者となり、SD企画会議が企画・運営する。

4 SD研修会は、学内開催を原則とするが、学外の諸機関が主催する研修会のうち、SD企画会議が認める研修会等への参加をもって振り替えることができる。

(SD企画会議)

**第4条** SD研修会の運営機関として、SD企画会議を設置する。

2 SD企画会議は、次の者をもって組織する。

- (1) 両大学の学長
- (2) 事務局長
- (3) 学長が指名する教職員若干名

3 前項第3号の者は両大学の学長の協議により決めるものとする。

4 SD企画会議は、次の事項を処理する。

- (1) 研修の年次計画・プログラムの検討及び実施・運営に関する事項
- (2) その他研修に関する事項

(心構え)

**第5条** 教職員は、自己の職務遂行能力の向上のために、積極的にSD研修会に参加するものとし、研修により得た知識、技能等を日常業務で活用するよう努めなければならない。

(学外研修会等)

**第6条** 教職員は、必要に応じて、所属長の判断を得たうえで学外の諸機関が主催する各種研修会、講習会及びセミナー等へ参加できるものとする。

(所管部署)

**第7条** この規程に関する事務は、総務課の所管とする。

(規程の改廃)

**第8条** この規程の改廃は、理事会の義を経て行う。

#### 附 則

- 1 この規程は、平成29年6月1日から施行し、平成29年5月1日より適用する。
- 2 北海道武蔵女子短期大学事務職員研修に関する規程は廃止する。

#### 附 則

- 1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。

## 北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学FD及びSDに関する基本方針について

### 1.FD(Faculty Development)の基本方針

FDの基本方針として、北海道武蔵女子大学及び北海道武蔵女子短期大学（両校を合わせて以下「本学」という。）が教員に期待する能力、人材育成の目標及び実施方針を以下のとおり定める。

#### (1) 教員に期待する能力

- ・学生にディプロマ・ポリシーに示す力を獲得させるために必要な能力、資質
- ・高度な専門性と研究能力
- ・高い倫理観と学生指導力

#### (2) 人材育成の目標

「建学の精神」及び「教育理想」への理解を深めつつ、研修又は自らの研鑽などを通して教員に期待する能力を高めることを目標とする。

#### (3) 実施方針

- ・FD研修については、FD委員会が計画して実施する。
- ・FD研修は、原則として常勤教員全員が参加するものとする。
- ・FDには、複数の教員が自発的に行うもの又は他の教育機関の教員と行うものも含むものとする。

### 2.SD(Staff Development)の基本方針

SDの基本方針として、本学が教職員に期待する能力、人材育成の目標及び実施方針を以下のとおり定める。

#### (1) 教職員に期待する能力

- ・大学運営の一翼を担う者としての意識と向上心
- ・大学の教育研究活動の適切かつ効果的な運営を常に心がける姿勢
- ・持続可能な地域社会づくりに貢献しようとする意思

#### (2) 人材育成の目標

「建学の精神」及び「教育理想」への理解を深めつつ、研修又は自らの研鑽などを通して教職員に期待する能力を高めることを目標とする。

(3) 実施方針

- ・SD研修については、SD企画会議が計画して実施する。
- ・SD研修は、原則として常勤教職員全員が参加するものとする。ただし、職種、役職又は部署等により教職員を分けて行う場合はこの限りではない。
- ・SDには、複数の教職員が自発的に行うもの又は他の教育機関の教職員と行うものも含むものとする。

※ 本方針における常勤教員とは、学園就業規則に定める専任教員、再雇用教員、特任教員をいう。

※ 本方針における常勤教職員とは、上記の常勤教員と学園就業規則に定める専任職員、再雇用職員、特任職員、嘱託職員を合わせたものをいう。

以上